



株式会社 UACJ

2025 年 3 月期 第 3 四半期決算説明会

2025 年 2 月 12 日

イベント概要

| | |
|----------|--|
| [企業名] | 株式会社 UACJ |
| [企業 ID] | 5741 |
| [イベント言語] | JPN |
| [イベント種類] | 決算説明会 |
| [イベント名] | 2025 年 3 月期 第 3 四半期決算説明会 |
| [決算期] | 2025 年度 第 3 四半期 |
| [日程] | 2025 年 2 月 12 日 |
| [ページ数] | 34 |
| [時間] | 16:15 – 17:00 (合計：45 分、登壇：25 分、質疑応答：20 分) |
| [開催場所] | インターネット配信 |
| [会場面積] | |
| [出席人数] | 85 |
| [登壇者] | 5 名 代表取締役 社長執行役員 田中 信二 (以下、田中) 取締役 副社長執行役員 川島 輝夫 (以下、川島) 取締役 常務執行役員 経営戦略本部長 隈元 穰治 (以下、隈元) |

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



執行役員 財務本部長

岡田 浩三（以下、岡田）

財務本部 IR 部長

上田 薫（以下、上田）

[アナリスト名]*

SMBC 日興証券

山口 敦

UBS 証券

五老 晴信

野村証券

松本 裕司

モルガン・スタンレーMUFG 証券

白川 祐

大和証券

尾崎 慎一郎

*質疑応答の中で発言をしたアナリスト、または質問が代読されたアナリストの中で、SCRIPTS Asia が特定出来たものに限る

サポート

日本

050-5212-7790

米国

1-800-674-8375

フリーダイヤル

0120-966-744

メールアドレス

support@scriptsasias.com



登壇

上田：ご参加の皆様、大変長らくお待たせいたしました。本日は大変お忙しい中、株式会社 UACJ2024 年度第 3 四半期決算説明会にご参加いただき、誠にありがとうございます。

この説明会は、株式会社 UACJ のホームページに掲載されております説明資料を使って行います。お手元に資料をご用意されていない方がいらっしゃいましたら、お手数ですがホームページをご覧ください。

なお、この説明会では、将来予測を含む情報が提供されることがありますが、これらの情報は当社の現時点での予測に過ぎません。さまざまな要因により実際に業績がこれら将来予測と大きく異なる場合がありますのでご注意ください。

では、本日の当社出席者をご紹介します。代表取締役社長執行役員、田中信二です。

田中：田中でございます。本日はよろしくお願いいたします。

上田：取締役副社長執行役員、川島輝夫です。

川島：川島です。本日はよろしくお願いいたします。

上田：取締役常務執行役員、隈元穰治です。

隈元：隈元でございます。よろしくお願いいたします。

上田：執行役員財務本部長、岡田浩三です。

岡田：岡田でございます。本日はよろしくお願いいたします。

上田：私は本日司会を務めます財務本部 IR 部長の上田薫でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、本日発表いたしました 2024 年度第 3 四半期業績につきまして、執行役員財務本部長の岡田よりご説明させていただきます。プレゼンテーション資料をご覧くださいながらご参加ください。岡田さんよろしくお願いいたします。

岡田：それでは、岡田から 2024 年度第 3 四半期決算内容につきましてご説明申し上げます。右下のページを読みながら進めさせていただきます。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



発表のポイント

- 3Qの事業利益*は**418億円**(前年同期比 +85億円)
- 2024年度通期の事業利益予想を455億円→**470億円**へ上方修正

1

■ 3Q累計 事業利益 418億円(前年同期比 +85億円)

- ✓ 国内: 缶材、厚板等の販売が順調に進捗し、収益を確保
- ✓ 海外: 北米を中心に、グローバルにおいて継続する好調な缶材需要を捕捉し、増収増益

2

■ 通期業績予想 事業利益 470億円(前期比 +36億円、前回予想比 +15億円)

- ✓ 3Qまでの業績と足元の環境を鑑み、通期業績予想を上方修正
- ✓ 4Qは、北米缶材の一部で2025年度に販売時期が変更
- ✓ 年度を通して、各種購買品のコスト・労務費等の上昇が続く

© UACJ Corporation. All rights reserved. * 事業利益 : 持続的な事業活動の成果。営業利益から、棚卸資産影響、一時的・特殊な重要性のある損益を控除したもの

1

1 ページ、本日発表のポイントですが、3クォーターの事業利益は418億円、前年同期比プラス85億円の結果でございました。2024年度通期の事業利益予想を455億から470億円へ上方修正といたします。

目次

1. 2024年度 第3四半期業績
2. 2024年度 業績予想
3. 株主還元について
4. 企業価値向上に向けた取り組み
5. ご参考

© UACJ Corporation. All rights reserved.

2

2 ページ、本日のご説明の内容になってございます。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



1. 業績

第3四半期 業績

| (単位:億円) | 2023年度 3Q累計 (A) | 2024年度 3Q累計 (B) | 増減 (B)-(A) |
|------------------|--------------------|--------------------|---------------|
| 売上収益 | 6,603 | 7,384 | 781 |
| 事業利益 | 333 | 418 | 85 |
| 棚卸資産影響等 | △111 | 75 | 185 |
| 営業利益 | 222 | 493 | 271 |
| 親会社の所有者に帰属する当期利益 | 68 | 250 | 182 |
| 1株あたり当期利益 (円/株) | 141 | 517 | 376 |
| Adjusted EBITDA* | 605 | 701 | 96 |

© UACJ Corporation. All rights reserved. * Adjusted EBITDA: EBITDA - 棚卸資産影響等

4

それでは4ページ、第3四半期の業績結果になります。

売上収益7,384億で増減といたしましては、781億円の増収という結果でございます。事業利益につきましては418億円で、対前年に比べて85億円の増益、親会社の所有者に帰属する当期利益につきましては、250億で対前年182億の増益という結果ございました。

1. 業績

アルミ板 品種別売上数量

(単位:千トン)

| 品種 | 2023年度 3Q累計 (A) | 2024年度 3Q累計 (B) | 増減 (B)-(A) |
|--------|--------------------|--------------------|---------------|
| 缶材* | 576 | 630 | 54 |
| 箔地 | 34 | 32 | △2 |
| IT材 | 6 | 8 | 2 |
| 自動車材 | 107 | 102 | △5 |
| 厚板 | 24 | 32 | 8 |
| その他一般材 | 130 | 141 | 11 |
| 合計 | 877 | 945 | 68 |
| 国内市場向け | 355 | 372 | 17 |
| 海外市場向け | 522 | 573 | 51 |

© UACJ Corporation. All rights reserved. * 内部取引控除後の数量

5

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



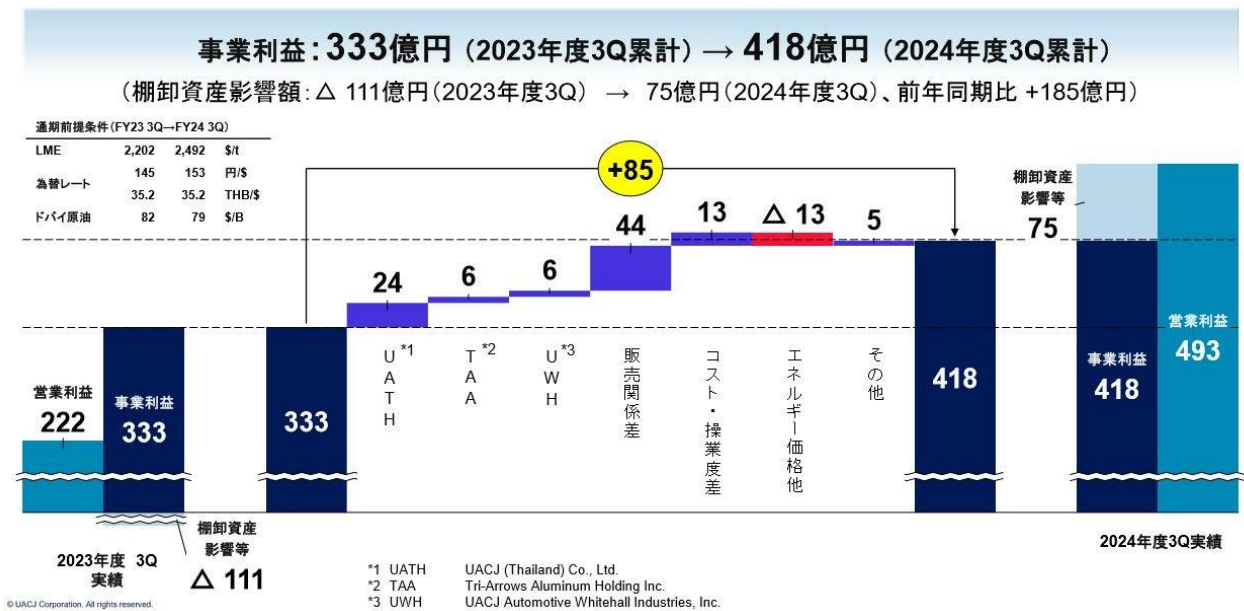
続いて5ページ、アルミ板の品種別の売上数量になります。真ん中3クォーターの累計になります。

合計で94万5,000トン、対前年に比べまして6万8,000トンの増販という結果でございます。右側の増減に目を見て目を合わせていただきますと、缶材、これが大きく5万4,000トンの販売増という結果でございます。

箔地、それから自動車材につきましては、自動車の生産台数減等によりまして対前に比べマイナスという結果ですが、IT材、厚板、その他一般材につきましては、対前年に比べてプラスで伸ばしているという状況でございます。

1. 業績

事業利益分析 (2023年度3Q累計 → 2024年度3Q累計)



6ページ、事業利益分析になります。

前年3クォーター累計333億から、今年度418億円のウォーターフォールで示してございます。プラス85億円の要因としましては、UATHで24億、あと大きなところは販売関係差でプラス44億という結果です。

UATHにつきましては販売数量の増と、操業度が改善しているということが増益の要因となります。

販売関係差につきましても、販売数量の増加ということが大きく付与してございます。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

棚卸資産の増加により、運転資金が増加

| (単位:億円) | 24/3末 (A) | 24/12末 (B) | 増減額 (B-A) |
|------------------|--------------|---------------|--------------|
| 現金及び現金同等 | 402 | 366 | △36 |
| 営業債権及びその他の債権 | 1,797 | 2,137 | 340 |
| 棚卸資産 | 1,879 | 2,461 | 582 |
| その他の流動資産 | 234 | 258 | 24 |
| 有形固定資産 | 3,852 | 3,990 | 139 |
| その他の非流動資産 | 981 | 975 | △5 |
| 資産合計 | 9,144 | 10,187 | 1,043 |
| 営業債務及びその他の債務 | 1,417 | 1,468 | 52 |
| 借入金 | 3,109 | 3,570 | 461 |
| その他 | 1,599 | 1,716 | 117 |
| 親会社の所有者に帰属する持分合計 | 2,770 | 3,141 | 371 |
| 非支配持分 | 250 | 292 | 42 |
| 負債及び資本合計 | 9,144 | 10,187 | 1,043 |

| | 使用 | 調達 | | |
|----------|---------|-----|--------|-----|
| 長期 資金 | 設備投資等 | 248 | 税引前利益 | 400 |
| | 法人税等支払 | 62 | 減価償却費 | 283 |
| | 配当金支払 | 62 | | |
| | 長期資金余剰 | 311 | | |
| 短期 資金 | 棚卸資産の増加 | 509 | | |
| | 債権債務増減他 | 249 | | |
| | | | 短期資金不足 | 759 |

| | |
|------|---------|
| 長期資金 | 311 億円 |
| 短期資金 | △759 億円 |
| 合計 | △448 億円 |

© UACJ Corporation. All rights reserved.

7

7 ページ、連結の財政状況計算書になりますが、真ん中赤で囲ってございますが、棚卸資産の増加により運転資金の増加が発生しております。

資産合計につきましては、1兆187億ということで、営業債権およびその他の債権がプラス340億、棚卸資産が582億円の増加というのが主な要因となっております。

右側の資金運用表ですが、今回長期資金の調達としては税引前利益400億円、減価償却費283に対し、長期資金の使用としては、設備投資248億円、法人税等で62億円、配当支払で62億となり、長期資金が311億円余剰になったという状況です。運転資金である短期資金は、759億円のショートということで、長期資金と短期資金のトータルでは448億円の不足という結果でございます。

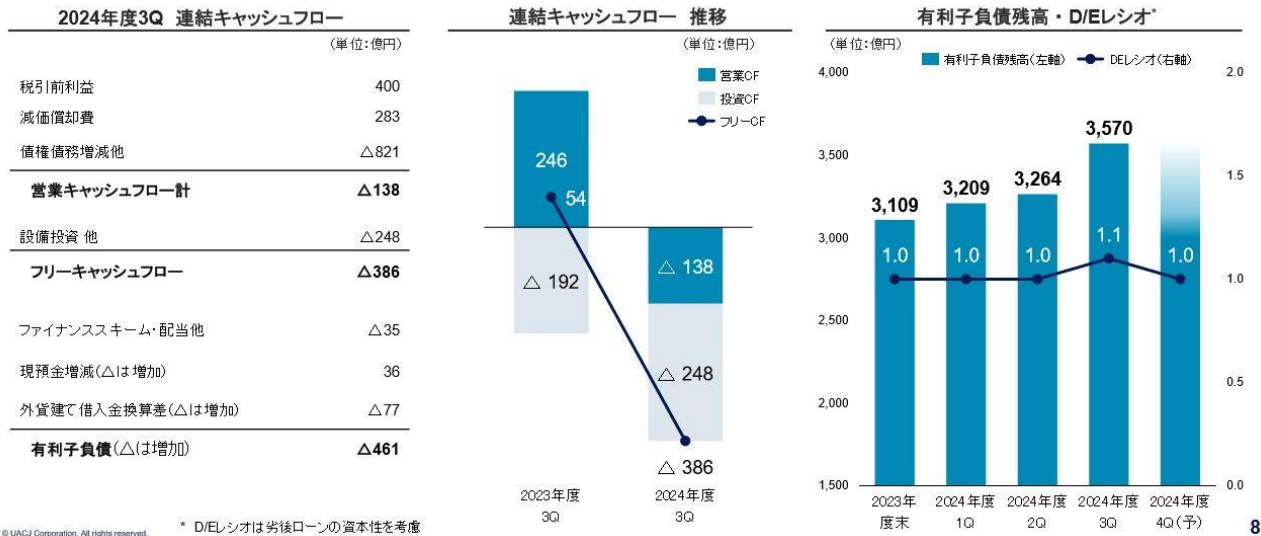
サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

1. 業績

連結キャッシュ・フロー計算書

2024年度末のD/Eレシオ目標水準 1.0倍を維持



8 ページ、実際のキャッシュフローになります。

税引前利益、それから減価償却費で 683 億円から債権債務の増減で 821 億円の運転資金の増ということで、営業キャッシュフローは 138 億円ショート、そこに設備投資 248 億円を投資しまして、フリーキャッシュフローといたしましては 386 億の資金ショートという形になります。

ファイナンススキーム・配当他、それから現預金の減を含めまして、あと外貨建ての借入金の為替の換算で 77 億増加をしまして、最終的な有利子負債の増減につきましては、461 億円増加したという結果でございます。

D/E レシオにつきましては、右側のグラフにございますが、3クォーター時点で 1.1 倍で、3月末の 1.0 倍に向けて進めてまいりたいと考えております。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

設備投資は減価償却の範囲内を堅持

| (単位:億円) | | 2024年度3Q 実績 | 2024年度 見通し | 2024~27年度 計画 | 2021~23年度 実績 |
|---------|------|----------------|---------------|-----------------|-----------------|
| 設備投資 | 一般投資 | 119 | 160 | 820 | 556 |
| | 戦略投資 | 124 | 205 | 780 | 247 |
| | 合計 | 243 | 365 | 1,600 | 803 |
| 減価償却費 | | 283 | 365 | 1,600 | 1,018 |

© UACJ Corporation. All rights reserved.

9

9 ページ、設備投資の状況です。

3 クォーターまでの実績は合計で 243 億円、2024 年度の計画 365 億に対して、ほぼ予定通りの伸長になります。年末年始の設備投資等々がありますので、今後 365 億に近づく実績になろうと見ております。

| 中国 輸出増値税還付制度の見直し | 米国 関税政策の動向 |
|--|---|
| (11/15) 輸出増値税還付制度の見直しを発表 → アルミ・銅に対して13%の税還付を廃止とする (12/1) 輸出増値税の還付制度廃止を開始 | (1/31) 鉄鋼・アルミ・銅製品に対し、関税を課する予定を表明 (2/1~4) 対カナダ、メキシコ → 25%の関税を発表 対中国 → 10%の追加関税を発表(従来の25%に追加) → 対中国には実行、対カナダ・メキシコは対話が続く (2/10) 鉄鋼・アルミ製品に対し、25%の関税を課すことを表明 ⇒ 状況を注視 |

UACJグループへの影響

| | |
|---|--|
| 税還付廃止に伴う中国材採用のコスト増加 →国内での事業、TAA、UATHの価格競争力の改善 →新規取引のチャンス拡大 | 米国内拠点(TAA、UWH)のプレゼンス向上 →販売量の増加:TAAの増産投資を最大活用 →新規取引、成長投資のチャンス拡大 インフレによるコストインパクトを懸念 |
|---|--|

© UACJ Corporation. All rights reserved.

10

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

10 ページ、外部環境の変化点になります。

左側が中国、右側が米国という形で記載しております。まず左側の中国につきましては、12月1日から輸出に関する増値税の還付制度が廃止をされました。その結果、下に移りますが、UACJグループへの影響としましては、中国材の税還付廃止に伴って、お客様での中国材の採用のコストが増加するという事で、国内の事業およびTAA、UATHの価格競争力の改善に付与するのではないかと見ております。あとプラスアルファで新規取引のチャンスも拡大していくのではないかと見ております。

右側の米国になります。2月10日に鉄鋼・アルミ製品に対し25%の関税を課すということが表明されました。今後の状況については注視してまいります。UACJグループへの影響といたしましては、米国内の拠点TAA、UWHのプレゼンスには向上を付与するのではないかと見ております。ただ、インフレ等によるコストインパクトへの影響が懸念されるので、今後注視してまいります。

1. 業績

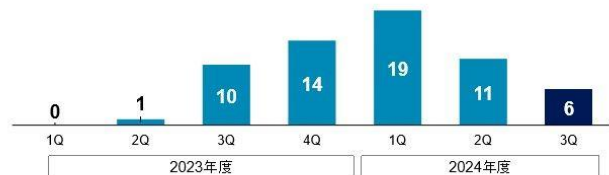
タイ(UATH)の状況

グローバルでの缶材需要を確実に取り込んで販売数量を拡大し、増収増益

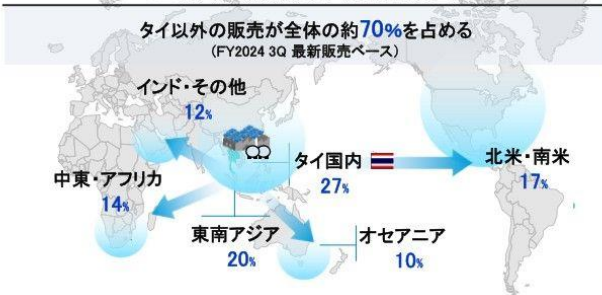
総括

- 需要 : グローバルでの缶材の需要は順調に推移
 販売 : 【北米向け】
 缶材需要回復に応じ、製品の出荷を継続
 【ASEAN・その他地域】
 ・新規顧客の開拓を進め、販売展開エリアを拡大
 ・12月からの中国増値税還付の廃止により、引き合いが増加
 損益 : ・販売数量の拡大で売上が伸長

事業利益推移(億円)



エリア別の販売比率(世界25カ国)



| (単位: 億円) | 23年度 3Q累計 (4~12月) | 24年度 3Q累計 (4~12月) | 前年同期比 |
|----------|----------------------|----------------------|-------|
| 販売量(千t)* | 192 | 226 | 34 |
| 売上収益 | 1,058 | 1,468 | 410 |
| 営業利益 | 2 | 54 | 52 |
| 事業利益 | 12 | 36 | 24 |

*TAAへの出荷分含む。 ※2023年度からの業績推移はP33をご参照ください。

11 ページ、UATH の状況です。

グローバルでの缶材需要を確実に取り込んで、販売数量を拡大し、増収増益の状況です。左下にございますが、真ん中、販売数量 22 万 6,000 トン、対前年に比べまして 3 万 4,000 トンの増販という状況です。

事業利益につきましては 36 億、対前年 24 億の増益という状況でございます。右上にクォーターごとの棒グラフございますが、3 クォーターのところは少しへこんだ形になっておりますけれど

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



も、パーツドルの為替でパーツ高の影響と、一部 UBC の価格の上昇等の影響を受けて、3 クォーターは 6 という形で落ちております。

グローバルの販売状況ですけれども、タイ以外の販売が全体の約 70%を占めるという状況です。そのうち北米・南米につきましては 17%の販売の比率という実績でございます。

1. 業績

米国(TAA)の状況

缶材のサプライチェーン全体での需要が堅調に推移

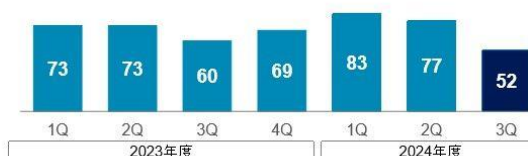
総括

- 需要** : ・北米の缶材需要の拡大傾向は変わらない
- 生産** : ・高水準での生産が継続
・設備増強投資は順調に進捗
- 販売** : ・販売の好調が継続(22千t増)
・4Qは、北米缶材の一部で2025年度に販売時期が変更

| (単位: 億円) | 23年度 3Q累計 (4~12月) | 24年度 3Q累計 (4~12月) | 前年同期比 |
|----------|----------------------|----------------------|-------|
| 販売量(千t) | 311 | 333 | 22 |
| 売上収益 | 1,814 | 2,118 | 304 |
| 営業利益 | 137 | 255 | 118 |
| 事業利益 | 206 | 212 | 6 |

© UACJ Corporation. All rights reserved. ※2023年度からの業績推移はP33をご参照ください。

事業利益推移(億円)



米国缶材需要の推移



12

12 ページ、TAA の状況です。

缶材のサプライチェーン全体での需要が堅調に推移してございます。左下でございますが、販売数量につきましては 33 万 3,000 トン、対前年 2 万 2,000 トンの増販、事業利益につきましては 212 億、対前年プラス 6 億という結果でございます。

同様に、事業利益の推移を右上の棒グラフに示してございますが、3 クォーターは少し落ちたような状態になってございますが、ここにつきましては販売の数量と、品種構成の影響、一部 UBC の価格の上昇の影響を受けているという状況でございます。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

1. 業績

米国(UWH)の状況

EV向けの販売量が減少、コストダウン施策の徹底を継続

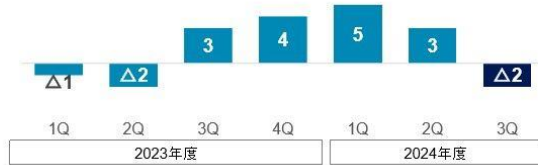
総括

- 事業** : 環境規制等により、車体の軽量化ニーズは強まる
環境 : EV市場は足元で伸び悩むも、HV/ICE市場の伸長が続き、自動車市場全体の中長期的な成長には変化はないと見通す
- 販売** : 日系OEMへの安定的な販売が継続
 車体軽量化等の需要を取り込み、新規案件取得に向けて活動
- 損益** : EV向けの販売量が減少
 2023年度下期からのコストダウン施策の徹底を継続

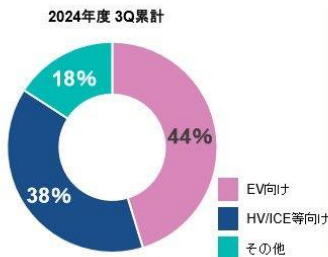
| (単位: 億円) | 23年度 3Q累計 (4~12月) | 24年度 3Q累計 (4~12月) | 前年同期比 |
|----------|----------------------|----------------------|-------|
| 売上収益 | 310 | 278 | △ 32 |
| 営業利益 | 7 | 4 | △ 3 |
| 事業利益 | △ 0 | 6 | 6 |

※2023年度からの業績推移はP33をご参照ください。

事業利益推移 (億円)



売上構成比



4Q以降の事業認識

- [4Q]**
 顧客の生産は回復する見通し
- 【外部環境の変化】**
 米国の関税政策を背景とし、顧客からの引き合いが增加、需要を確実に捉える
 米国の環境政策の動向(EV補助金等)を注視

13 ページ、UWH の状況です。

足元ではEV 向けの販売量が減少しており、コストダウン施策の徹底を継続してまいります。左下でございますが、売上収益としましては 278 億で対前年マイナス 32 億、事業利益につきましては 6 億で、対前年プラス 6 億という結果でございました。

右上にクォーター別の事業利益を示した棒グラフになりますが、3 クォーターはマイナス 2 億ということで落ち込んだ状態になってございます。ここにつきましては、EV の 3 クォーターの販売減の影響が大きく出たという状況でございます。ただ、4 クォーター以降の事業認識としましては、顧客の生産は回復してくるといような状況の見通しになっております。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



発表のポイント

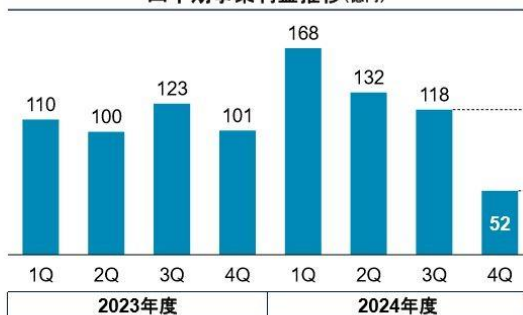
2024年度の状況および通期見通し

- ✓ 3Q累計販売実績: 期初想定を上回って着地
海外...グローバル全体での好調な販売
国内...品種構成の好転
(缶材: 需要期の販売増、厚板: 流通在庫の適正化による一時的な需要増)
- ✓ 4Q: 一部販売の来期繰り越しや、
一過性コストの発生等の影響を受ける見通し

事業利益

470億円

四半期事業利益推移(億円)



第4四半期の事業利益減少の主な要因

① 一部販売が来期へ

中国の増値税の還付廃止により、北米で中国材の駆け込み需要が生じ、当社の販売の一部が来期に持ち越される見通し

② 一過性コストの発生

年度末決算整理(IFRS)
年末年始補修、一部設備の除売却

③ 各種コスト増

労務費の上昇、加工費、物流費、保全費用、
副資材を含む各種購買品のコスト上昇
—価格改定交渉へ(2025/1/30公表)

© UACJ Corporation. All rights reserved.

15

15 ページ、通期業績の事業利益の見通しになります。

ポイントといたしましては通期の事業利益見通しは 470 億でございます。4 クォーターにつきましては、一部販売の来期繰り越しや、一過性のコストの発生等の影響を受ける見通しでございます。

左下に事業利益の棒グラフがございます。4 クォーターにつきましては見通しとして 52 億円、3 クォーターに比較しまして、約 60 億強の事業利益が落ち込むような形になってございますが、その要因といたしましては、右側でございます①、②番が大きな要因となっております。

まず①番ですが、中国の増値税の還付廃止により、北米で中国の材料をお客様が駆け込みで購入したということが発生してしまっており、当社の販売の一部が来期に持ち越されるという状況になってございます。

②番といたしましては一過性のコストの発生ということで、年度末の決算整理ということで IFRS による影響で一部決算の整理がございます。あと、年末年始の補修、一部設備の除売却の影響がありまして、この 4 クォーターは少し落ち込んだように見えて取れます。

③番といたしましては、全体的にかかる労務費の上昇、加工費、物流費、保全費用、副資材等々の各種購買品のコストが上昇しております。これにつきましては、1 月 30 日にリリースいたしましたが、値上げの交渉をお客様と今後展開するという計画でございます。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

2. 業績予想

2024年度 通期業績見通し

3Qまでの業績と足元の環境を鑑み、通期業績予想を上方修正

| (単位: 億円) | (参考) | | | | |
|------------------|-------------|-------------|-----------|---------------|-----------|
| | 2023年度実績(A) | 2024年度最新(B) | 差異(B)-(A) | 2024年度8月時点(C) | 差異(C)-(B) |
| 売上収益 | 8,928 | 9,900 | 972 | 9,300 | 600 |
| 事業利益 | 434 | 470 | 36 | 455 | 15 |
| 棚卸資産影響等 | △ 120 | 90 | 210 | 10 | 80 |
| 営業利益 | 314 | 560 | 246 | 465 | 95 |
| 親会社の所有者に帰属する当期利益 | 139 | 260 | 121 | 205 | 55 |
| 1株あたり当期純利益(円/株) | 287 | 539 | 252 | 425 | 114 |
| Adjusted EBITDA | 798 | 847 | 49 | 820 | 27 |
| 年間配当 | 90円/株 | 140円/株 | 50円/株 | 140円/株 | 0円/株 |

| 通期前提条件 | | | | |
|--------|--------|----------|----------|--------|
| | FY23実績 | FY24 3Q実 | FY24 4Q予 | |
| LME | 2,202 | 2,492 | 2,600 | \$/t |
| 為替レート | 145 | 153 | 155 | 円/\$ |
| ドバイ原油 | 35.2 | 35.2 | 34.0 | THB/\$ |
| | 82 | 79 | 75 | \$/B |

16

16 ページ、通期業績の見通しです。

売上収益 9,900 億、対前年に比べまして 972 億円の増収、事業利益 470 億、対前年 36 億の増益、当期利益につきましては 260 億ということで、対前年 121 億円の増収増益となっております。この 4 クォーターの LME、為替レート、ドバイ原油の外部環境見通しは、右下に記載の通りでございます。

2. 業績予想

アルミ板 品種別売上数量

| 品種 | (参考) (単位:千トン) | | | | |
|--------|---------------|-------------|-----------|---------------|-----------|
| | 2023年度実績(A) | 2024年度最新(B) | 差異(B)-(A) | 2024年度8月時点(C) | 差異(B)-(C) |
| 缶材* | 791 | 852 | 61 | 854 | △ 2 |
| 箔地 | 45 | 42 | △ 3 | 45 | △ 3 |
| IT材 | 8 | 10 | 2 | 10 | 0 |
| 自動車材 | 142 | 134 | △ 8 | 139 | △ 5 |
| 厚板 | 34 | 42 | 8 | 38 | 4 |
| その他一般材 | 175 | 185 | 10 | 175 | 10 |
| 合計 | 1,195 | 1,265 | 70 | 1,262 | 3 |
| 国内市場向け | 475 | 492 | 17 | 485 | 7 |
| 海外市場向け | 720 | 771 | 51 | 777 | △ 6 |

© UACJ Corporation. All rights reserved. * 内部取引控除後の数量

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

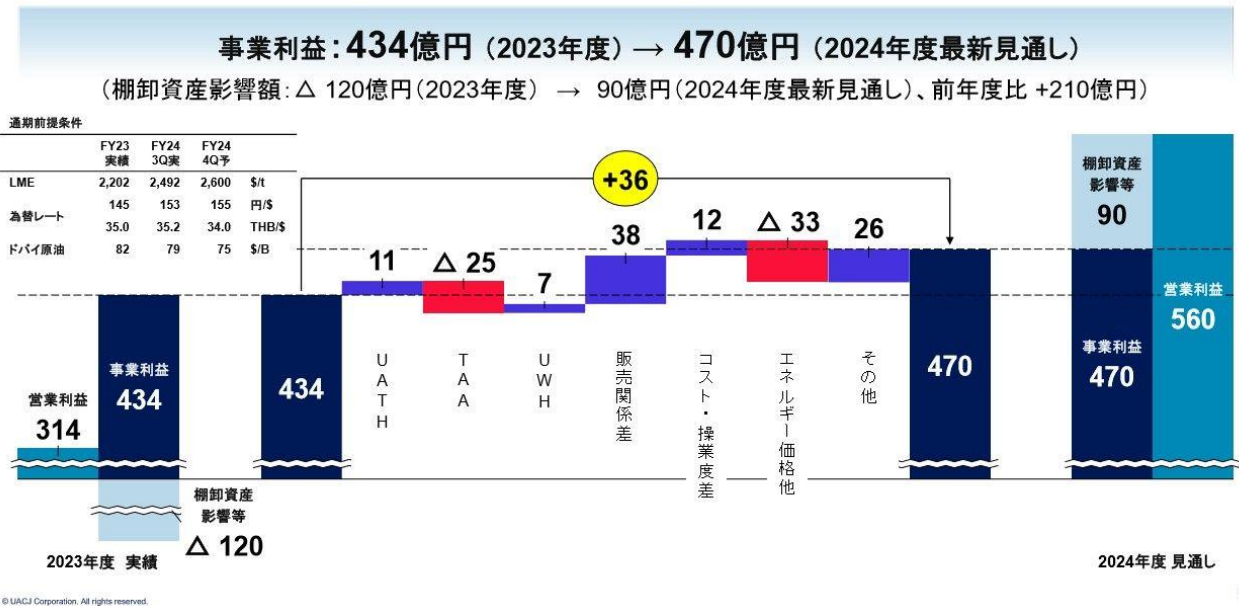


17 ページ、アルミ板の品種別の売上数量見通しです。

トータルで合計 126 万 5,000 トン、対前年に比べまして 7 万トンの増販という計画でございます。差異につきましては 3 クォーターも同様ですが、缶材は 6 万 1,000 トンの大幅な増、あと箔地、自動車材につきましては対前年に比べて自動車生産台数減少等により少しマイナスで、IT 材、厚板、その他一般材につきましては対前年に比べて伸長しているという見通しになってございます。

2. 業績予想

事業利益分析 (2023年度 → 2024年度最新見通し)



18 ページ、通期見通しの事業利益分析になります。

前年 434 億円から今回 470 億円の増益に対しまして、ウォーターフォールで示しております。UATH プラス 11 億、TAA がマイナス 25、UWH がプラス 7、販売関係差プラス 38、あとエネルギー価格差等がマイナス 33 億という形でございます。

ポイントとして、TAA につきましてはマイナス 25 となっております。これは、販売に関し昨年の 4 クォーターは北米で缶材の在庫積み増しの需要があったということに対して、今年度の 4 クォーターはお客様による中国の増値税還付制度廃止前の駆け込み需要による買い増しの影響を受けるというところの差が大きく出てくるとみています。それ以外では UBC の価格上昇の影響などもございます。

あと、エネルギー価格につきましては、時期ずれの影響が出ているというところでございます。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



2. 業績予想

事業利益 推移

“稼ぐ力”は着実に進化、第4次中期経営計画達成に向けて計画通り推移



© UACJ Corporation. All rights reserved.

19

19 ページ、事業利益と Adjusted EBITDA の推移を示してございます。

2024 年度につきましては、事業利益 470 で EBITDA が 847 ということで、中計 2027 年で掲げています事業利益 600 億、EBITDA1,000 につきまして、計画通りの推移と捉えております。

3. 株主還元

株主配当

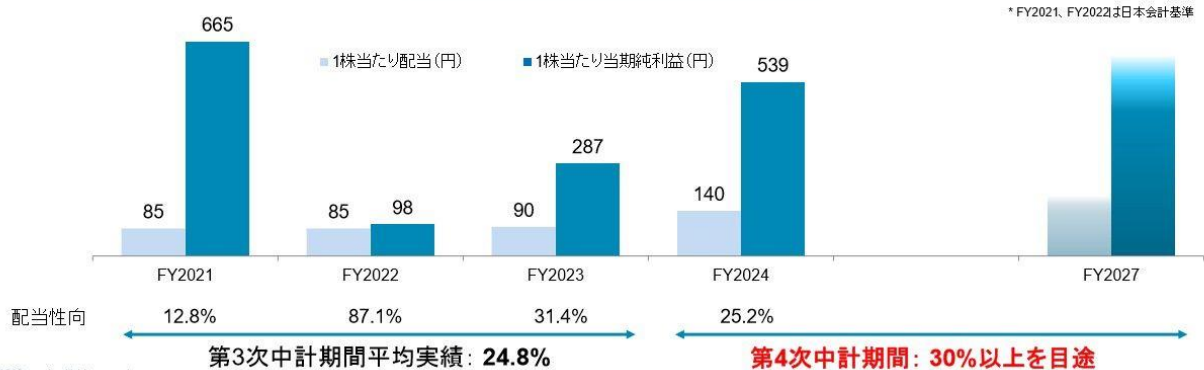
株式価値の向上に向けて

確実な利益・キャッシュフローの確保、資本市場との継続的な対話を実施し、株式価値向上の実現を目指す

<株主還元基本方針>

安定的かつ継続的な配当

→第4次中期経営計画(24~27年度)の期間中の配当性向は、最終利益の30%以上を目標



© UACJ Corporation. All rights reserved.

21

続きまして、株主還元、21 ページです。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



株式価値の向上に向けてということで、確実な利益・キャッシュフローの確保、資本市場との継続的な対話を実施し、株式価値向上の実現を目指します。安定的かつ継続的な配当につきましては、第4次中期経営計画の期間中の配当性向は最終利益の30%以上を目処ということで、当社方針は変わってございません。

4. 企業価値向上に向けた取り組み

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けて

株式価値最大化に向けて (第4次中計にて公表)

ROEの改善(目標9%以上)

- 事業利益目標：600億円
- ROIC目標：9%以上
- 価値創造プロセス見直し
- 事業戦略の策定
- 成長シナリオの構築

エクイティ・スプレッド

早期に
1% 以上に

株式価値最大化
(PBR1.0倍以上)

資本コスト低減(目標7%台) 期待成長率の引き上げ

- 最適資本構成の実現
- 配当性向30%以上
- サステナブルな事業戦略の策定
- 非財務分野での価値創出
- 情報開示、エンゲージメント強化

PBRの推移



© UACJ Corporation. All rights reserved.

23

次の23ページ、資本構成は株価を意識した経営の実現に向けてということです。

足元、右下に折れ線グラフございますが、2024年の12月末のPBRにつきましては、まだ1.0倍に届いていないという状況で、今後も引き続きエクイティスプレッド1%以上の早期実現に向けて取り組んでまいります。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

4. 企業価値向上に向けた取り組み

次世代アルミ飲料缶蓋 「EcoEnd™」の展開

環境負荷低減への貢献を評価され
国際賞を受賞

The Canmaker Magazineが主催する「The Canmaker Cans of the Year Awards 2024^{*1}」において、「Ends, Caps & Closures部門」金賞、「Sustainability部門^{*2}」、「Delegates' Choice^{*3}」の3つの賞を受賞



「Ends, Caps & Closures部門」金賞受賞の様子
(左から、東洋製罐 テクニカルセンター 磯村達太郎氏、UACJ 缶材料開発部 室長 工藤智行、主催者側プレゼンター、東洋製罐 テクニカルセンター 中野節治氏)

*1「The Canmaker Cans of the Year Awards」は、The Canmaker Magazineが1996年から毎年主催する、金属包装業界における技術の開発や革新を称える国際的な賞
*2 ノミネートされた全部門の製品の中から、持続可能な社会の実現に資するものに贈られる賞。今回は、唯一、EcoEnd™が受賞。
*3 ノミネートされた全部門の製品の中から、来場者投票による得票が一番多かったものに贈られる賞
© UACJ Corporation. All rights reserved.

国内ビール4社で、2025年2月以降順次採用

2024年12月10日、アサヒビール株式会社様、キリンビール株式会社様、サッポロビール株式会社様、サントリー株式会社様が、持続可能な社会の実現に向けて取り組みを加速すべく、EcoEnd™を採用したことを4社共同で公表。

2025年2月以降順次、各社が販売するビール類の一部商品へ採用。環境負荷を低減する資材を4社共通で採用することは国内初となる。



「EcoEnd™」は、GHG排出量を大幅に削減するとともに、従来の缶蓋と同等の性能を実現した次世代の製品。東洋製罐株式会社様と共同で開発。
従来の缶蓋は新地金を多く使用しており、その製造過程で多量のGHGが排出されていた。これに対し、「EcoEnd™」は使用済み飲料缶(UBC:Used Beverage Can)などのリサイクル原料の使用割合を大幅に引き上げることで、従来の缶蓋に比べGHG排出量を約4割削減し、環境負荷を大きく低減することを可能にした。

24 ページは、ご紹介になります。

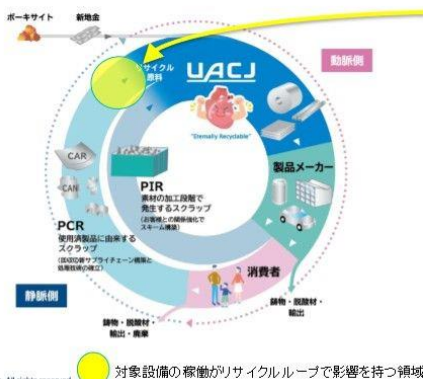
次世代アルミの飲料缶蓋 EcoEnd が右側にございますが、国内ビール4社の皆様から、2025年2月以降順次採用数がされていく見通しとなっております。

4. 企業価値向上に向けた取り組み

環境と経済安全保障の両立

- ✓ Scope3(原材料)におけるGHG^{*1}排出量を大幅に削減
- ✓ ポーキサイトの新規採掘を抑制し、ネイチャーポジティブに貢献
- ✓ 国内循環により、経済安全保障に資するアルミニウムを安定的に確保

対象領域



株式会社日本格付研究所による評価結果

【Green1(F)】の認定
アルミニウムの循環型社会の形成に重要な取り組みであり、環境改善効果へ期待できるものと評価
➢ GHG排出削減効果
➢ 資源の最大限の有効活用

対象事業

| | |
|------------|--|
| 主な対象設備と事業者 | <ul style="list-style-type: none"> ・ UBC^{*2}からDCC^{*3}に加工する設備(山一金属との合弁会社) ・ DCCを溶解し、圧延材料とする設備(UACJ) |
| 設置場所 | UACJ 福井製造所内 |
| 稼働計画 | 2025年中の稼働開始 |

*1 GHG 温室効果ガス。Greenhouse gasの略
*2 UBC:使用済み飲料缶(Used Beverage Can)
*3 DCC:Delacquered Can Chip

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



25 ページ、環境と経済安全保障の両立ということで、Scope3 における GHG 排出量を大幅に削減すること、あとボーキサイトの新規採掘を抑制し、ネイチャーポジティブに貢献する。あと国内循環により、経済安全保障に資するアルミニウムを安定的に確保していくという取り組みでございます。

今回の福井製造所で UBC から DCC に加工する設備と、DCC を溶解し圧延材料を作る設備につきましては、グリーンファイナンスで資金を調達いたします。

4. 企業価値向上に向けた取り組み

CDP2024スコア「気候変動」、「水セキュリティ」で「A-」を取得



CDP*1による調査「CDP2024」において、
「気候変動」「水セキュリティ」の両部門で
“リーダーシップレベル”「A-」の評価を取得

UACJグループは、「気候変動への対応」などの課題に向き合い、UACJリサイクル率*2・Scope3におけるGHGの排出量削減や水の取水量削減についての定量目標を掲げて活動を展開し、開示情報の充実に務めた結果、気候変動と水セキュリティの部門で、当社にとって初めてとなる「A-評価」を獲得しました。
CDP2023の「B」評価から当社の取り組みが進化したことが評価されたものと認識しています。



*1 CDP ロンドンに本部を置き、全世界18,000社以上の企業を対象に環境への取り組みに関する評価・開示を行う国際的な非政府組織。
© UACJ Corporation. All rights reserved. *2 UACJリサイクル率 UACJグループ独自に設定した、溶解炉への装入量に対する循環アルミ量の割合。2030年度目標を80%に据える。

続きまして、26 ページ。CDP による調査「CDP2024」において、当社、気候変動、水セキュリティの両部門で、リーダーシップレベル A-の評価を取得いたしました。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



4. 企業価値向上に向けた取り組み

パラリンアートへの協賛活動

第4回パラリンアートコンテスト受賞作品を発表

「Aluminum lightens the world」を描く

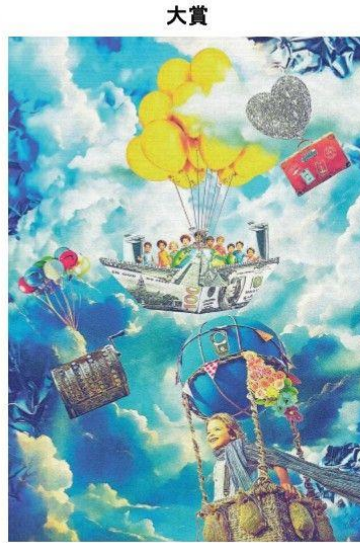
世界を軽やかに、明るくする「アルミ」の無限の可能性について、自由なイメージを表現した幅広い作品を募集。79件のご応募がありました。その中から当社グループの従業員のWeb投票により、グランプリ1作品とUACJ賞2作品を選出しました。



当社がゴールドパートナーとして協賛する一般社団法人障がい者自立推進機構（パラリンアート）と共同でコンテストを実施

UACJウェイの「相互の信頼と尊重」に基づき、共生・共創社会のさらなる推進を目指してまいります

当社グループは一般社団法人障がい者自立推進機構の取り組み方針に賛同し、障がい者アーティストによるチャレンジ、成功体験、社会的地位のステップアップ、賞金による経済的自立推進を支援しながら、同時に、ゴールドパートナーとして活動を支援することを通じて社会的認知の拡大、企業価値の向上を目指してまいります。



ケンタさん
「アルミの仕事で得たお金で出発する明るく軽やかな大冒険」



竹ちよさん
「タブから生まれ変わる未来」



tontonkikakuさん
「アルミと私たちの近未来」

© UACJ Corporation. All rights reserved. ご参照)《結果発表》「Aluminum lightens the world」を描くパラリンアートコンテスト presented by UACJ | 一般社団法人障がい者自立推進機構 パラリンアート運営事務局

27

27 ページにつきましては、パラリンアートへの協賛活動にも注力してまいります。

(追加情報) 自己株式取得について (2025年2月12日公表)

TostNeT-3による自己株式の取得と、その消却を行うことを決議

取得の内容

| | |
|----------------|---|
| (1) 取得対象株式の種類 | 当社普通株式 |
| (2) 取得し得る株式の総数 | 300万株(上限) (発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合 6.22%) |
| (3) 株式の取得価額の総額 | 165億円(上限) |
| (4) 取得結果の公表 | 2025年2月13日午前8時45分の取引時間終了後に取得結果を公表いたします |

- 当該株式数の変更は行いません。市場動向等により一部または全部の取得が行われない場合があります。
- 取得予定株式数に相当する売付注文をもって買付けを行います。

消却にかかる事項の内容

| | |
|---------------|--|
| (1) 消却する株式の種類 | 当社普通株式 |
| (2) 消却する株式の総数 | 上記により取得する自己株式のうち、株式報酬等として充当を見込む株数(100万株)を除いた全株式数 |
| (3) 消却予定日 | 2025年3月14日 |

- 消却する株式の数は、上記による自己株式の取得完了後、改めてお知らせします。

ご参照) IRニュース「グローバル・アルミニウム メジャーグループ 株式会社UACJ」

28

最後 28 ページになりますが、本日公表させていただきました追加情報といたしまして、自己株取得を実施いたします。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com



20

TostNet-3による自己株式の取得とその償却を行うことを決議いたしました。取得し得る株式の総数につきましては300万株を上限、株式の取得価額につきましては総額増額165億円を上限といたします。取引の結果の公表につきましては、明日2月13日の午前8時45分の取引時間終了後に取得結果を公表いたします。

あと、償却に関わる事項ですが、上記の条件で取得いたしました自己株式のうち、株式報酬等として、充当見込む株式数100万株を残した残りの全株式数を償却いたします。実施時期につきましては3月14日を計画しております。

ご説明は以上になります。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



質疑応答

上田 [M]：当社からのご説明は以上でございます。これより皆様からのご質問をお受けいたします。

それでは最初のご質問者を紹介します。SMBC 日興証券株式会社の山口様、ご質問をお願いいたします。

5. ご参考

海外主要子会社 業績推移

(単位:億円)

| UATH | | | | | | | | 2024年度 | | | | | | |
|----------|------|-----|------|-----|------|-----|-------|--------|-----|-----|------|-------|-------|----|
| 2023年度 | | | | | | | | 1Q | 2Q | 上期 | 3Q | 4Q | 下期 | 通期 |
| 販売量(千トン) | 62 | 65 | 126 | 65 | 65 | 130 | 257 | 72 | 77 | 149 | 78 | 226 | 307 | |
| 売上収益 | 340 | 352 | 692 | 366 | 367 | 734 | 1,426 | 453 | 494 | 947 | 521 | 1,468 | 2,008 | |
| 営業利益 | △ 14 | 0 | △ 13 | 15 | 4 | 18 | 5 | 52 | 7 | 59 | △ 5 | 54 | 66 | |
| (棚卸資産影響) | △ 14 | △ 1 | △ 15 | 4 | △ 11 | △ 6 | △ 21 | 33 | △ 4 | 29 | △ 11 | 18 | 29 | |
| 事業利益 | 0 | 1 | 1 | 10 | 14 | 25 | 26 | 19 | 11 | 30 | 6 | 36 | 37 | |

| TAA | | | | | | | | 2024年度 | | | | | | |
|----------|-----|------|-------|------|-----|-------|-------|--------|-----|-------|-----|-------|-------|----|
| 2023年度 | | | | | | | | 1Q | 2Q | 上期 | 3Q | 4Q | 下期 | 通期 |
| 販売量(千トン) | 98 | 110 | 208 | 103 | 122 | 225 | 433 | 109 | 118 | 227 | 106 | 333 | 444 | |
| 売上収益 | 570 | 648 | 1,219 | 595 | 722 | 1,317 | 2,536 | 713 | 721 | 1,434 | 685 | 2,118 | 2,895 | |
| 営業利益 | 66 | 34 | 101 | 36 | 63 | 99 | 200 | 107 | 75 | 181 | 73 | 255 | 298 | |
| (棚卸資産影響) | △ 7 | △ 38 | △ 45 | △ 24 | △ 6 | △ 30 | △ 75 | 24 | △ 2 | 22 | 21 | 43 | 48 | |
| 事業利益 | 73 | 73 | 146 | 60 | 69 | 129 | 275 | 83 | 77 | 160 | 52 | 212 | 249 | |

| UWH | | | | | | | | 2024年度 | | | | | | |
|----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|--------|----|-----|-----|-----|-----|----|
| 2023年度 | | | | | | | | 1Q | 2Q | 上期 | 3Q | 4Q | 下期 | 通期 |
| 売上収益 | 105 | 104 | 210 | 100 | 107 | 207 | 417 | 101 | 93 | 195 | 84 | 278 | 378 | |
| 営業利益 | 1 | 2 | 3 | 4 | 4 | 8 | 11 | 4 | 2 | 6 | △ 2 | 4 | 8 | |
| (棚卸資産影響) | 2 | 4 | 6 | 1 | 0 | 1 | 7 | △ 1 | 0 | △ 2 | △ 0 | △ 2 | △ 2 | |
| 事業利益 | △ 1 | △ 2 | △ 3 | 3 | 4 | 7 | 4 | 5 | 3 | 8 | △ 2 | 6 | 10 | |

© UACJ Corporation. All rights reserved.

33

山口 [Q]：いつもお世話になっております。SMBC 日興証券の山口でございます。

いつも私が聞いている質問は、33 ページ目にあります、数字、販売量とか、子会社の利益ですね。ということで仕事が一つ減りました。

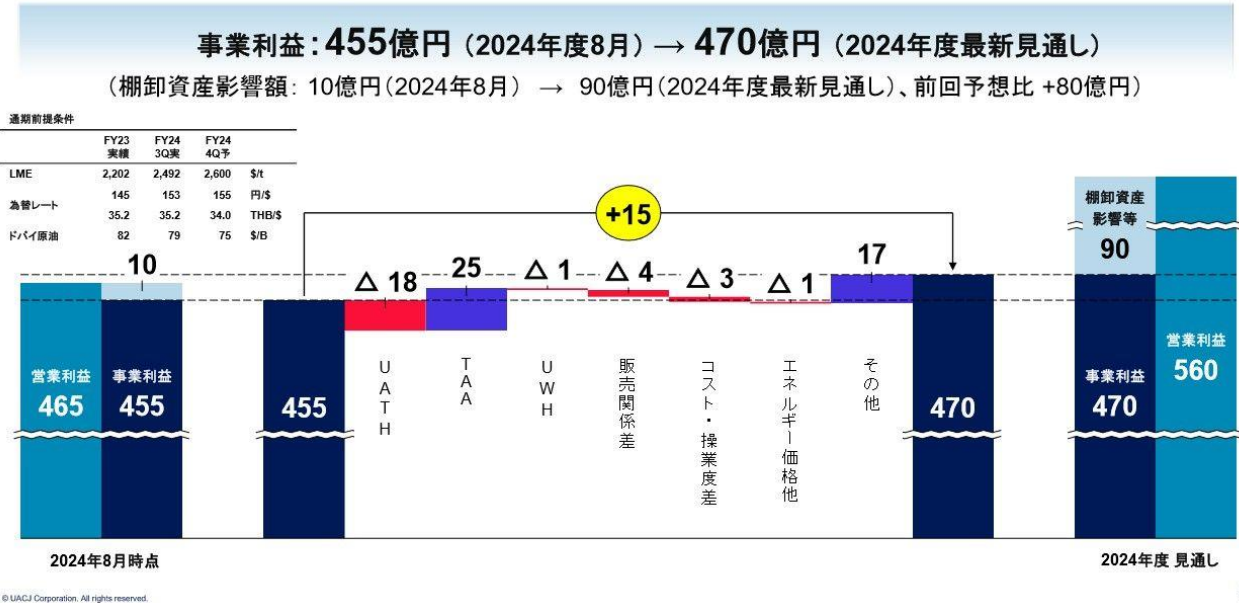
サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



5. ご参考

事業利益分析 (2024年8月時点 → 2024年度最新見通し)



冗談は半分にして、31 ページ目のところのブリッジに関してご解説がいただきたいのが1 問目。

2 問目ですけれども、一連の関税の動きに関してですが、アメリカで言われているのが、リローラーとか押出品のメーカー、まず、例えばカナダとメキシコでスクラップの9割ぐらい買っていると思うんですけど、このコストが先に地金とかも含めて上がっちゃって、製品価格への転嫁にラグが生じるんじゃないかというのが、向こうの担当アナリストのコメントです。

おそらく製品の需給も相当逼迫すると思うので、パススルーできると思いますが、確か TAA は諸物価・インフレ率を勘案して、ちょっとタイムラグを伴うようなお話をしていたところが心配なので、そこら辺に関してどう考えるか。

もう一つは UATH が最近復調してきた背景として、出荷の中で北米向けが17%とありましたが、これが逆に行かなくなっちゃうリスクはありませんかということも含めて、この関税周りのところをちょっと肉付けしていただきたいのが2 問目でございます。

他のアナリストさんに残りを譲ります。はい、よろしく申し上げます。

田中 [M]：ご質問ありがとうございます。2 点いただきました。1 点目は31 ページのウォーターフォールに関するコメントですね。もう1 点が北米アメリカの関税に関する点ということで2 件承りました。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

まず1件目の31ページの事業利益分析のところにつきましては、岡田からコメントし、2点目の北米の関税のところは、隈元からコメントさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

岡田 [A]：ポイントとなるのがUATHのマイナス18億円、TAAのプラス25億円かと思います。UATHは、為替の影響を大きく受けております。TAAは、販売については順調ですが、一部、先ほど申し上げた中国材の駆け込みがあるということで、少し当初計画していたよりも来期に持ち越されるということの数量の影響があると考えております。

川島 [A]：UATHの為替は、当初の見込みよりもパーツがドルに対して少しパーツ高に推移している影響ですが、販売数量は確保できています。TAAについては、販売はほぼ予定通りで、中国材を積極的にお客様は使いたいということで、4クォーターに予定していたのが1クォーターにずれるという形のマイナスはあったんですけども、他方で、操業度やローガン工場の製造コスト低減がプラスで出たという形で見ております。

田中 [A]：TAAについては、12月1日に中国の増徴税の還付がなくなったということですので、その影響が今4クォーターに集中したということになりますので、また来年度になれば、そのところは回復してくるということで考えております。

それでは、2点目、関税については隈元から。

隈元 [A]：ちょっと予断を許さないといったところが正直なところなんですけど、ご質問いただいた価格転嫁のタイムラグ、それから需給バランスがむしろタイトになっていくんじゃないかと、それからタイからの販売がどうなのかと、大きく三つあったか思います。

まず価格転嫁の差、これは若干とはいえ生じてくるとは思いますが。ただ、米国の場合は、例えば3カ月平均ずれるとかではなくて、製造月と販売月の1カ月前の地金の価格を適用するというのが非常に一般的でございますので、原料価格の変動に関わる転嫁差というのはほぼ1カ月ぐらいの話だと見ております。年度内で吸収できるという、25年度は25年度内で吸収できる話だと思います。

それから需給の逼迫、これは確実に起こってくるだろうなと思います。25%もエキストラに払うんだったら国内材を買うというのが、お客様の意向でしょうけれども、国内で供給できないから輸入しているという、ここはジレンマがあるわけで、一時的にもものすごく逼迫してくる。ですので、スライド10で、新規取引、成長投資のチャンス拡大をポジティブサイドで見ておりますけれども、一方でインフレによるコストインパクトを懸念しており、確実に人件費の上昇や色々なコストが上がってくると思いますので、両面あると見ております。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

それから、タイのビジネスへの影響ですけれども、これは今の需給逼迫のところと裏腹の部分がございます。じゃあいらないのかということお客様は非常に悩まれると思います。多少関税を払ってでも数量が欲しいという場合と、いやいやコストを重視する場合がありますので、今コメントするのは時期尚早かなと思っております。

山口 [Q]：中国の増値税の影響で、アジアの販売やトレードの潮流に変化は出てないでしょうか。例えば中国材が減って御社材の採用が増えているとかはないですか。

田中 [A]：増値税の影響については、やはりお客様に影響が出ているということは、色々な情報が入ってきています。

増値税還付されていた分を製品に転嫁したいという中国メーカーの意向も、お客様のところに来ているので、われわれにおいては、短期のお客様については引き合いを受けておりますので、この後、比較的有利な形で展開していけるんじゃないかなとは考えております。

山口 [M]：了解しました。ありがとうございました。

田中 [M]：ありがとうございます。

上田 [M]：ご質問ありがとうございました。次のご質問が、モルガン・スタンレーMUFU証券株式会社の白川様、お願いいたします。

白川 [Q]：モルガン・スタンレー証券の白川です。本日ありがとうございました。質問2点よろしくお願いいたします。

1点目が15ページのところで、4Qでどれだけ一過性が今回織り込まれているかということなんですけども。右下のところで一部今お話もありましたが、TAAでの販売が来期へ、あと一過性のコストで各種コスト増。各種コスト増ってというのは季節性のことなのかなと思うんですが、それぞれいくらぐらいなのか、できれば定量的にご解説お願いいたします。これが1点目になります。

2点目が、今のお話にもあったグローバルの潮流ですけれども、タイの統計を見ていると、オセアニア向けがかなり伸長してきたかなと思うんです。アメリカのところでは少し減ったとしてもここが伸びてくればとか、あとは中国材からの切り替えも短期的にあるのかなと思うんですけども、オセアニアが伸びている背景と、今後のオセアニア、もしくは中東とかも含めてですけれども輸出に関しての見通しを教えてください。以上です。お願いします。

田中 [M]：ありがとうございます。今2点ご質問を承りました。15ページの一過性のコストあるいは各種コスト増のところ、それからグローバルの潮流につきましては、川島からコメントで。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



川島 [A]：決算関係で、日本の会計基準だと月割りするんですけども、IFRSだと4Qに大きく乗ってきますので、その関係だけでも15億程度の影響が出るのではないかと考えております。

グローバルですけども、元々、UATHのターゲットは中東、東南アジア、オセアニアでしたから、それを今後自分たちが取れると。それから元々アメリカについては、頭に入れてなかったんです。2021、2022年のときはいっぱいありましたけれども、それがなくなってきてですね。元々UATHの位置付けというのはさっき言った地域でしたから、そこに取りに行こうという形でお客様の商談を得ていると。

それにプラス今回ですね、2024年については、アメリカで量が足りなかったのがアメリカに出したということなので。オセアニアにはアルミの板を作る工場がありませんから、100%輸入になりますので、やっぱりそこは大きなターゲットの地域だと認識をしております。

田中 [A]：東南アジアにつきましては人口増ももちろんありますけれども、飲料缶、このアルミ缶というのはかなりな勢いで伸びていっていますので、全体マーケットでいくと3%、特にアジア地域ではまたそれを上回るような成長性もありますので、特にこの辺のところは引き続き伸びていく可能性が強いらろうかと考えています。

白川 [Q]：わかりました。はい、ありがとうございます。需要環境に関して特段何かマイナスネガティブ要因が起きているってということはないでしょうか。最後確認です。

田中 [A]：現時点ではございません。逆に先ほど言った増値税のところ、この辺のところをうまく、われわれがいかに取り込めるかっていうところはポイントになってくるかなと考えております。

白川 [M]：ありがとうございます。

上田 [M]：ご質問ありがとうございました。では、次のご質問者の方は野村証券株式会社の松本様です。ご質問をお願いいたします。

松本 [Q]：野村証券の松本でございます。よろしく申し上げます。

1点目は、一部お話がありましたけれども、世界的にUBCの価格が結構上がっていて、特にアメリカの方で上がっているような認識を持ってしまして。この辺の価格転嫁の取り組みとか、あるいはそのフォーミュラがあるのかどうか、どういうメカニズムになっているのか解説してください。何となくご説明だと、悪化する要因の一つでそんなに深刻じゃない感じがしますが、教えてください。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



あとはアメリカのこの関税の影響ですけれども、今の状況で免除されている地域があったりしてよくわからないんですが、仮に全部かかるとしたら、大体、例えば国内生産のどれぐらいのポーションの輸入品が影響与えるとか、どれぐらいのインパクトがありそうかというのを、イメージを教えてくださいいただけますでしょうか。以上です。

田中 [A]：ありがとうございます。2点いただきました。1点目が UBC 価格の影響ですね、北米等を中心に厳しかったと。もう1点は、多分これ除外申請のことを言われたのかなと思いますけど、この辺のところについてのご質問というか、定量的な数字まで出せるかどうかはありますが、この辺につきましては隈元から、先ほ引き続いて詳細に説明を。

隈元 [A]：今 UBC の価格のアップダウン、今アップサイドのご質問でしたけれども、これは価格転嫁するののかということですが、この価格転嫁はしないです。というのは、缶材の値段というのは、新塊の LME に合金添加物を足したものを正として、それをお客様へスライドしているということです、UBC の値段の上がり下がりというのは、お客様の値決めとは直接関係ないというのが答えになります。

それから二つ目のご質問で、関税のインパクト、これ数量のインパクトっていうのは米国にとってのインパクトというふうに今ちょっと読み替えましたけれども、一番大きいところで言いますと、日本からアメリカに出しているアルミニウム圧延品、これは板も型も全て入っていますが、おおよそ 2 万 2,000 トンです。

日本ーアメリカということと言うと 2 万 2,000 トンですが、これを缶材というオールアジアと米国っていうふうにちょっとパイを広げて見てみますと、おそらくアジアで作っている缶材、それから自動車関連、それから熱交換器関連、ここら辺全部入れますと、おそらく 15 万トンから 16 万トンぐらい。この中で当然当社も入っていますけれども、例えば Novelis なんかも入っていますし、他の諸々のアジアのミルも入っていると思いますが、こういうのを全部足すと、おそらく 15 万から 16 万トンぐらいのものがアジアからアメリカに入ってきている。

なので、これが関税按分の対象になるんですけれども、これもそのバックアップするだけの、リプレースするだけの余力が今度米国側にあるのかということところが焦点といいますか、クエスチョンになってくると思うんですけど。そこまでの調査はまだ終わっていませんけれども、アメリカで作ってない製品も多分にございますので、そこはお客様としては非常に悩ましい点だろうなと思います。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



川島 [A]：さっきの UBC のところですけど、隈元さんが言われたように、本来は地金価格に加工費乗せています。自分たちはできるだけ材料費を抑えるために、努力をしてきました。だそれでも自分たちの努力以外のところで原材料費がいくつかが上がってきています。

他方でなぜスクラップが使われているかという環境問題です。そこに自分たちはバリューがありますから、その転嫁というよりも、環境に貢献する形で自分たち、これから価値を取らないかということをお客様にご説明しながら、価格改定をさせていただくという形で作り上げていくということを考えなければなりません。

松本 [Q]：2 点目は、例えばある缶材の大手、缶材というか缶を製造している大手の会社とかメキシコから板を持ってきたりして、結構その話が説明会なんか出たりするんですけど、そこはあんまり需給にはそんなに影響ない感じなんですか。

川島 [A]：アメリカで作り切れないから、メキシコから持ってきているわけです。多分生産のキャパシティがないので、メキシコ等で製造することは変わらないと思うんです。ただ、そこに今度はコストがかかるということです。アメリカの板の場合は、安いからアメリカ国外から買っているというよりも、生産のキャパシティがないから買ってきているのでは。関税で上がった分だけ仕方がないなと考えるのでは。あとはそれを製品の価格に転嫁するのかどうかということではないかなと理解をします。

田中 [A]：あとは内訳のボリューム感っていうのは、ちょっとわれわれの中でも捉えきれておりませんので、その辺のところをしっかりと話ししながらということになろうかと思います。

松本 [M]：わかりました。ありがとうございました。

上田 [M]：ご質問ありがとうございました。次のご質問は、大和証券株式会社の尾崎様、よろしくお願いたします。

尾崎 [Q]：大和証券の尾崎でございます。よろしくお願いたします。

15 ページ目で示されている各種コスト増に対応した価格改定で、ロールマージン 2 割ぐらい 4 月から上げられると思いますけれど、この手応えというか、実現の確度と実際どういったインパクトがありうるのか教えていただけないでしょうか。以上、1 点です。

岡田 [A]：まさに今、お客様にお願いを開始しているという状況ですので、まだ 4 月からの出荷に対してどこまで実施できるのかというところにつきましては、まだ不透明な状況ではございますけれども、今は 4 月 1 日から全てロールマージン 20%のお願いをし、やっていくというのが今の立ち位置の状況でございます。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



田中 [A]：こちらについては、ちょうど今アナウンスをまだ開始したばかりですから、今ちょうどお客様に、営業部隊が一つ一つ丁寧にあの内容の説明をしているというところですので、価格体系の見直しについては、いずれもいつの時代にあっても簡単ではありませんので、しっかりと上げる理由をご説明させていただきながらご理解をいただくようにということで進めてまいります。

上田 [M]：ご質問ありがとうございました。

次のご質問者の方は、UBS 証券株式会社の五老様です。ご質問をお願いいたします。

五老 [Q]：UBS 証券の五老です。よろしくお願いいたします。

1 点目は重ねてで恐縮ですが、今の価格改定交渉についてです。これまでの過去のこのマージン改善の取り組みのときは表を作っていたいただいて、地域とかアイテムごとに進捗をご紹介いただいたりしていたわけですが、今回の価格改定、今お話あったロールマージン 20%、地域別にどの部分について取り組むのか。

そしてステップバイステップの部分もあると思うんですけども、どういう交渉をクリアすればマージンを維持あるいは改善に繋がられるのかというところをお話しさせていただきたいのと、この中で UACJ SMART などのグリーンブランドの拡販を今後目指していくという要素も、あるいはリサイクル材を活用する、理解するお客様の受注などのお話も以前いただいていた。こういった要素は入りうるのかと、このあたりをご解説いただけたらというのが 1 点目です。

それから 2 点目、アメリカの今回の状況の中でスクラップがタイトになるよというところ。一方で、リサイクル率の改善への取り組みが加速、促されるような要素になりうるんじゃないかという気もするんですけど、このあたり、取り組みの変化ありうるかという点について、一言いただければと。

そして最後もし時間があれば、需要のところ。足元の状況を缶材を中心にご説明いただきましたが、自動車、エレクトロニクス材、厚板系のところ、来期に向けての期待値確認できればと。以上です。よろしくお願いいたします。

田中 [A]：それでは 3 点いただきました。まず、価格改定のところになりますけれども、本件につきましては国内が主となります。前回、エリアごとに表でまとめさせていただいたのは、価格のフォーミュラをどういう体系で見直していくかということです。今回の価格改定のところは、示しました通り国内でいろいろインフレに伴うもの、こういったものを見直しをしていくという形での価格の見直しということになっています。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



それから併せて、価格体系の見直しとか、あるいは各種コストの増とは違って、その UACJ SMART マスバランス、環境付加価値は、別個にお客様との交渉の上で、リサイクル率だとか、そんなところを勘案しながら改定していくということになります。

それから、アメリカの関税につきましては、スクラップがやはりタイトになってくると思います。アメリカの回収率は日本と比べてまだまだ低いということでもありますので、まず回収率を高めていくこと。これは北米 TAA 社長の Henry が全米のアルミニウム協会の会長をやっておりまして、そのリサイクル回収をして戻していくという形で今積極的に進めております。

それから最後の需要のところにつきましては、缶材は順調にきておりますけども、自動車と厚板については、今年度目標値に至りませんでした。確実にここは上向いてきています。本格的な回復は 2025 年度になってからになります。ここは、確実に需要は回復してくるだろうと考えております。

すみません、時間もちょっとあって早めに答えました。

上田 [M]：ご質問ありがとうございました。予定の時間が参りましたので、本日の説明会は終了させていただきます。

以上をもちまして、株式会社 UACJ2024 年度第 3 四半期決算説明会を終了いたします。本日はご参加いただきありがとうございました。

今後も株主をはじめとするステークホルダーの皆様のご期待に添えるよう邁進して参りますので、引き続き弊社をご支援ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。本日はお忙しい中お集まりいただき誠にありがとうございました。

[了]

脚注

1. 音声不明瞭な箇所に付いては[音声不明瞭]と記載
2. 会話は[Q]は質問、[A]は回答、[M]はそのどちらでもない場合を示す

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



免責事項

本資料で提供されるコンテンツの信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性等について、SCRIPTS Asia 株式会社（以下、「当社」という）は一切の瑕疵担保責任及び保証責任を負いません。

本資料または当社及びデータソース先の商標、商号は、当社との個別の書面契約なしでは、いかなる投資商品（価格、リターン、パフォーマンスが、本サービスに基づいている、または連動している投資商品、例えば金融派生商品、仕組商品、投資信託、投資資産等）の情報配信・取引・販売促進・広告宣伝に関連して使用してはなりません。

本資料を通じて利用者に提供された情報は、投資に関するアドバイスまたは証券売買の勧誘を目的としておりません。本資料を利用した利用者による一切の行為は、すべて利用者の責任で行っていただきます。かかる利用及び行為の結果についても、利用者が責任を負うものとします。

本資料に関連して利用者が被った損害、損失、費用、並びに、本資料の提供の中断、停止、利用不能、変更及び当社による利用者の情報の削除、利用者の登録の取消し等に関連して利用者が被った損害、損失、費用につき、当社及びデータソース先は賠償又は補償する責任を一切負わないものとします。なお、本項における「損害、損失、費用」には、直接的損害及び通常損害のみならず、逸失利益、事業機会の喪失、データの喪失、事業の中断、その他間接的、特別的、派生的若しくは付随的損害の全てを意味します。

本資料に含まれる全ての著作権等の知的財産権は、特に明示された場合を除いて、当社に帰属します。また、本資料において特に明示された場合を除いて、事前の同意なく、これら著作物等の全部又は一部について、複製、送信、表示、実施、配布（有料・無料を問いません）、ライセンスの付与、変更、事後の使用を目的としての保存、その他の使用をすることはできません。

本資料のコンテンツは、当社によって編集されている可能性があります。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

